

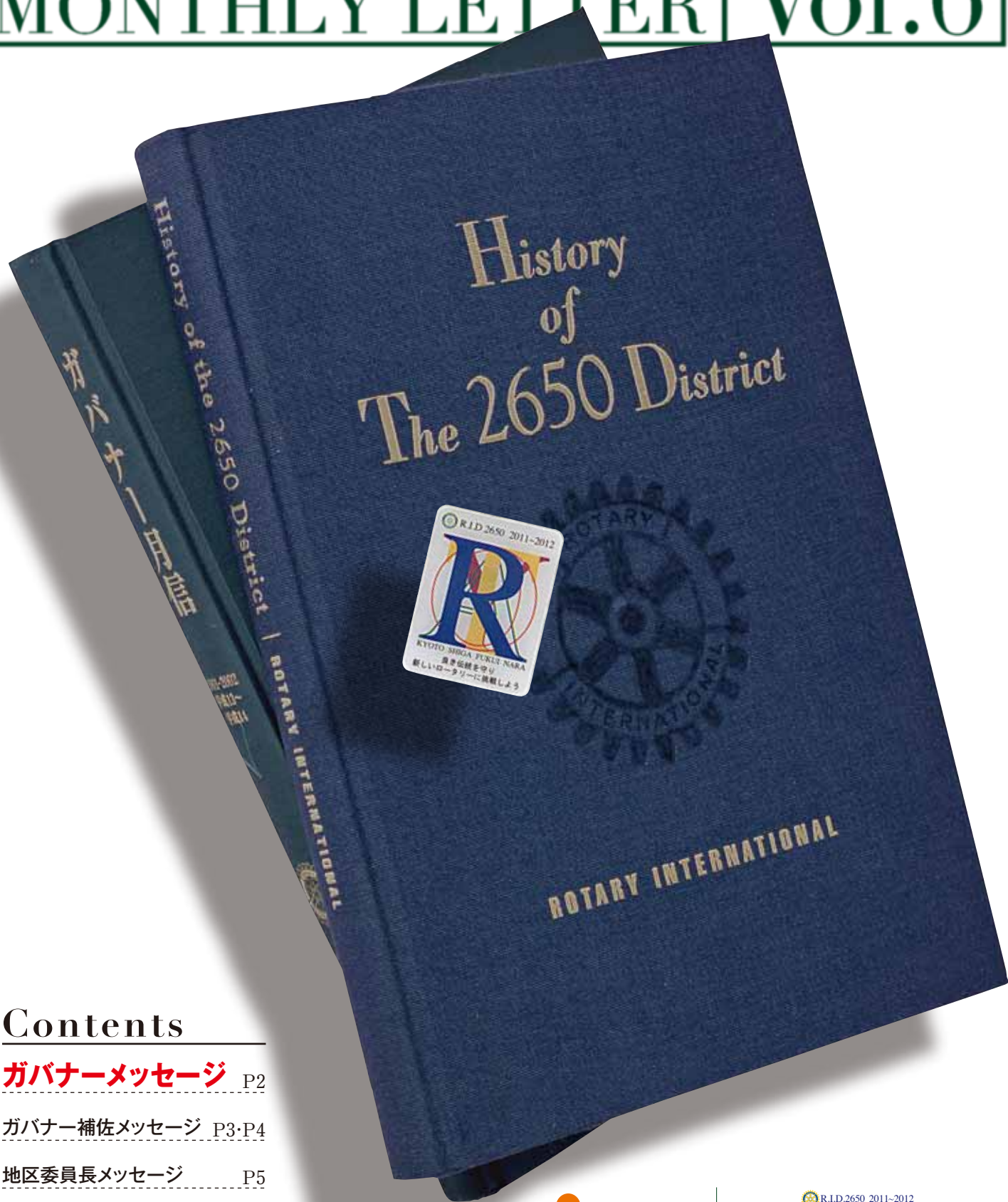
2011~2012 年度 国際ロータリー第 2650 地区

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2011.12.01

Vol.6



## Contents

**ガバナーメッセージ** P2

ガバナー補佐メッセージ P3・P4

地区委員長メッセージ P5

国際大会ご案内 P6

会員数の増減及び出席率表 P7

会員の動き P8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

R.I.D.2650 2011-2012



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

from GOVERNOR

## 「ロータリアンとして、引続き 東日本災害復興支援にご協力を！」

2011～2012年度 第2650地区ガバナー 今西 信裕（京都南ロータリークラブ）



東日本災害復興支援につきましては、皆様からの深甚なるご理解と多大なるご協力に心より御礼感謝申し上げます。昨年、栗田年度に皆様より頂きました、当地区義援金は、5,370万円に上り、2011年10月1日時点で次のように活用されております。

当初被災7地区支援	630万円	被災地へ送金済 3,000万円
RI2520地区 (岩手県、宮城県)支援	1,370万円 (2011年9月送金)	
RI2530地区 (福島県)支援	1,000万円 (2011年9月送金)	
震災孤児奨学金制度 実施のための資金	2,370万円	ガバナー会
合計	5,370万円	

5,370万円の内、3,000万円はすでに被災地に届けられ、それぞれの支援ニーズに合った対応が、被災地ロータリアンの手で行われ、被災地の方々のお役に立っています。残金2,370万円は日本全体で震災孤児支援のための資金としてガバナー会で全体をまとめられ、速やかに実施されることを願っております。震災孤児を助けることは、その理念の崇高さ、ロータリーらしい素晴らしい奉仕であると考えております。日本全体でも総額9億9,000万円の内、約5億9,000万円が既に被災地支援にまわされ、残金4億円程度で震災孤児支援スキームを組んで、早期に実行されるべく努力中とのことです。

震災から9ヶ月が経過しましたが、現地ではまだまだの状態、支援のニーズも多様化し、ローカルゲートキーパーとの的確な情報交換の下、ロータリーとしてやるべき支援は多くあり、継続的支援が必要です。その本番はこれからです。10月1～2日、片岡宏二地区幹事長を代表に石巻市へ現地視察団を派遣し、現地をつぶさに視察して、石巻の亀山市長様やロータリアンとも交流をしていただきました。やはり現場を見て「想像以上の被害の甚大さに驚くとともに、早期復興支援の重要性を痛感した」と報告をいただいております。皆様も機会があれば是非一度現場へ行って見て下さい。9月に、各クラブの震災支援への状況を把握すべくアンケートをお願いし、全クラブより回答を得ました。ご協力に感謝申し上げます。(結果は各クラブ会長に送付されています。)

各クラブ独自にそれぞれのつながりの中で、積極的に直接ご支援をされているクラブも多く、その奉仕に敬意を表します。

RI2650地区としても今後3年間(前年度を含め4年間)の継続支援が必要との東日本災害復興支援特別委員会の判断のもと、支援の原資として「RI第2650地区特別基金」を創設し、栗田年度の繰越金及び節約や地区資金残分をかき集め、2,000万円の「RI第2650地区特別基金」を創設しました。今後この資金に災害年次寄付を各年度でお願いして、ファンドに加算し、年間約5,000万円程度を目標に、3年間継続的に支援できる体制を組むべく、とりあえず本年度「寄付金募集趣意書」を11月に各クラブに送付して、ご協力をお願いしております。出来るだけのご協力を切にお願いいたします。これは本年度より3年間継続して実施する予定で、栗田直前ガバナー、今西ガバナー、河本ガバナーエレクト、坂本ガバナーノミニの連名にて趣意書を作成し、お願いをいたしております。その意をおくみとりいただければ幸いです。この資金は、各クラブで被災地支援をなさるときに、その支援の補助金として各クラブでご使用いただき、クラブからの災害支援がより拡大することを願っております。具体的内容は、東日本災害復興支援「クラブ計画事業補助金」に従って、特別委員会下の補助金委員会で査定をお願いいたします。各クラブで、またいくつかのクラブ共同で、的確なる支援ニーズを把握し、タイムリーな支援をし、奉仕の感動を共に味わい、東日本の復興に少しでもお役に立つよう努力いたしましょう。ご寄付へのご協力及びクラブでの支援活動の実施で、本年度の奉仕事業を充実するためにリーダーシップを発揮して下さい。

このような支援を積極的に実行することが、ロータリー活性化のために必要であり、クラブでの人材育成にもつながり、その感動を分かち合うことによって、奉仕をさせていただくことの喜びを知り、ロータリーにより魅力を感じるようになります。会員増強、ロータリー公共イメージアップにもつながります。地区ロータリアンの皆様、今一度東日本災害復興のための寄付に協力して、奉仕に自ら汗をかくことで、ロータリアンとしての責務を果たしましょう。

このことが本年度カルヤン・パネルジーRI会長テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の実行そのものです。



# 「例会1284回(27年間) 皆出席は“自分づくり”」

from ASSISTANT GOVERNOR

奈良第一担当  
ガバナー補佐 熊本 國勝  
(平城京ロータリークラブ)



ロータリーの伝統(原点)て何だろう

平城京RCにチャーターメンバーとして入会して以来27年間(1284回)、メイクアップを含めて、皆出席を続けている。

入会した時は42歳の働き盛り、経営コンサルタント業を起業して3年目の時だ。故 岩井 洋氏創立時会長から入会のお誘いを受け、ロータリークラブが何であるかも分からないまま断り切れずに、お付き合いのつもりで入会した。

ところが、創立クラブとあって会員数も24名と少ない為に、いきなり理事・委員長や委員を兼務する事になり、ロータリー活動を強制されることになる。委員長役はクラブ青少年奉仕委員長、他に出席委員、チャーターナイトの祝宴担当と、あつと言う間に認証状伝達式が終わり6カ月間を経過した。しかし、その後が大変！入会当時の私は起業して間がなく、全国を飛び回っていて、ロータリー活動に対応できない。“仕事優先”が許されると思い、つい欠席してしまう。理事会にも出席できない。夜、紹介者より自宅に電話が入る。「メイクアップを必ずしなさい」、「メイクアップって何ですか」と、今思い出すと“知らないものの強み”で、よく質問やら委員会の仕事について電話で教えてもらう事になる。連続して例会を欠席している時、出張先に家内から電話が入る。「岩井さんから、出張先に何処か例会があるはずだからメイクアップをするようにとの事」。しかし、どこにRC例会場があるか知らない。仕方なく岩井会長に近くの例会場を探してもらおう。「〇〇日〇〇時〇〇の場所で行われる〇〇RCの例会に出席しなさい」と叱咤と激励が続く。

以降「ロータリーの友の綴込み例会一覧表」は、私の必需品となり身体と共に移動する事となる。HC例会欠席補填のメイクアップをよく続けたものだと思う。

ある時は、メイクアップを優先したスケジュールを立てたり、新幹線を途中下車してのメイクアップをしたりと、とにかく“皆出席”を目指しメイクアップを続けた。入会以来10数年間は、HC出席率は平均50%位であった。「熊本は出席率

が悪かった」(当時はHC出席が当たり前でメイクアップは当然の風土があった)と、今も時々話題に出る。

幸か不幸か?私にとって、毎月2~3回の全国を出張しながらのメイクアップは、ロータリー活動が何であるかを気付かせてくれた。それは、“多様なロータリアンとの出会い、それぞれのRC卓話、公平な接遇、クラブ独特の食事や委員会報告や活動”が学べた。

このメイクアップを含むロータリー出席規定(手続要覧“ロータリー・クラブ定款第9条”)は、ロータリーの最大特徴ではないだろうか。こんな事があった。大阪市内でメイクアップした例会場で、隣にメイクアップに来られていたのが江崎グリコ社長の江崎さん。当時グリコ・森永事件の被害者であり、事件発生直後の時期である。

名刺交換後に、小生が「大変な時と思いますがメイクアップですか」と尋ねると「ロータリーには必ず出席しています」と言われ、周囲に気遣いながら途中一礼され退席された。その姿は「ロータリーの偉大さや、出席する事の意義」を強く表現するものでした。

思えば、今日迄27年間、ロータリー活動を続けられたのは“学びと自分づくり”に必要なからです。6年前、ロータリー創立100周年2650地区大会での新会員セミナーに出席した時、会場に居られた千 玄室氏は「ロータリーが100年間続けられたのは“ルール”があったからです。そのルール中でも、最も大事なのが“出席”です。ロータリーを学ぶには、出席以外にない」と言われた事はまさに正道であり、ロータリーの原点だと思う。かつては、出席率100%が当たり前の感があつた時代から見ますと、ややさびしさを感じるのは私だけでしょうか?今こそ“良き伝統を守り…”の原点が、何かをロータリーアン一人一人が考え、守って行かなければと思います。

“自分づくり”の為のロータリー活動に、何かのご縁で私をロータリークラブに誘ってくれた先輩会員に感謝したい。(了)

## 『CLP』雑感』

from ASSISTANT GOVERNOR

京都市域第一担当  
ガバナー補佐 西村 勝  
(京都ロータリークラブ)

先般、2011-12年度「RLIパートII」に研修リーダーとして初めて参加しました。担当グループのテーマが「効果的な会合の持ち方とリーダーシップ」(クラブの各委員会活動とその活性化の重要性)ということで「CLP」の現状と今後の対策を中心に意見交換が行われました。

実は、私の所属する京都ロータリークラブはCLPを採用していませんので、私の理解も浅いものでしかありませんが、充分満足いく運営がされているか疑問に思いましたので改めて自分の勉強のためにもと思いCLPを考えてみたいと思います。

2650地区では2006-07年度(平井義久ガバナー)の時より導入が推奨され、現在では82クラブがCLPによる運営を実施しています。

## 【導入の経過】

- 2000年 RI指導開発及び研修委員会が、小クラブ用に五つの小委員会しかない新しいクラブの管理組織を推奨。
- 2004年 その後試験的採用を経て、新しい推奨クラブ細則を承認し実施を開始した。

## 【導入の背景】

1. 会員数減少への対応
2. 弱体化したクラブの蘇生
3. 少人数クラブの増加(20名以下のクラブ数全世界で約20%)

## 【CLPの目的】

効果的なクラブの管理の枠組みを提供することによりクラブの強化を図るためである。

具体的には

1. 会員基盤の維持、拡大
2. 地元並びに他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトの実施
3. 財政的貢献と財団支援
4. クラブの枠を超えたリーダーの育成

## 【CLPの利点】

1. クラブ運営の簡素化により奉仕と親睦に集中できる  
(兼務役職の減少)
2. クラブ活動に会員がより多く参加するにつれ

会員保持率が高くなり活性化につながる

3. クラブ目標の設定及び達成のために多くの会員または全会員の参加を促し意思決定することにより組織強化につながる
4. 計画の連続性、継続性を意識したクラブ運営が可能になる(長期計画策定が容易)
5. クラブ会員が数種の委員会に関与することにより、資質が向上し将来のリーダーの育成につながる

## 【CLPの課題】

以上の経緯を経て、82クラブが地区の指導の下この制度を取り入れましたが、上記の趣旨が理解されないまま、つまり組織の変更(簡素化)が意識され、以下の問題が表れているようです

1. 地区委員会との整合性がうまく取れていない
  2. 五大奉仕の委員長が理事をはなれ奉仕活動が活性化しにくい
  3. ロータリーの根幹理念である職業奉仕の位置付けが不明確で理念の継承が危ぶまれる
  4. 単年度制の意識が残ったままでの取り組みのため、継続性、長期計画、全員参加の意識が薄れている
- 等の意見が出され、元の組織に戻されたクラブもあるようです。

RIは目的や利点にあるように、簡素化、効率化を目指しながら長期目標を持ってクラブの継続性を明確化することを期待しています。そのためには社会の変化、ニーズに対応すべく毎年、制度の見直しをしなければならないということだと思います。折角CLPを採用したにも拘わらず、その効用を充分発揮しなければ従来の制度のままで良いということになります。CLPは強制ではありません。規定も推奨です。クラブの個性、独自性を発揮できる制度にするためには毎年組織、運営の点検を怠らないことが大切なのかなと思います。(参考資料 ロータリー情報マニュアル、2007-08ガバナー補佐 刀根氏著「CLPの現状と課題」)

# 「奉仕する側の思いと 奉仕を受ける側の想い」

from DISTRICT CHAIRMAN

地区社会奉仕委員会  
委員長 田中 伸二  
(京都乙訓ロータリークラブ)



地区社会奉仕委員会は2011-2012年度第2650地区のテーマ「良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう」を基本として地区内97クラブの皆様が奉仕活動に励んでおられますことに敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

地区のテーマを繰り返し黙読していますと論語の「温故知新」が思い浮かんできます。その意味はわかり易く表現すれば「昔のことを良く知り、そこから新しい知識や道理を得ること」と謂われています。先人のロータリアンがさまざまな奉仕活動をしてこられたその積み重ねの結果として社会奉仕は「ロータリーの心臓の鼓動」あるいは「ロータリーの花形」であるといわれて久しいところですが、私達は新しいロータリーの奉仕活動に挑戦しようとするときに先人のロータリアンがどのような奉仕活動をしてこられたのか、また何故、奉仕活動をされたのかを知ることが大切ではないかと思えます。そこから新しい考えが浮かびタイムリーで地域のニーズに合った奉仕活動が生まれてくるのでしょうか。奉仕する側の思いと奉仕を受ける側の想いが共有できることは素晴らしいことです。地球の温暖化・少子高齢化や所得格差の拡大などの社会構造の変化に伴って地域や社会現象にあった長期的な奉仕の共有化が望まれるのではないのでしょうか。

今年は予期せぬ出来事とはいえ3月に未曾有の東日本大震災が発生しました。地震・津波による自然災害、そのうえ不幸にも原発の放射性物質が漏れ出すという言わば人災と言うべき広範囲で多大な被害がでました。7月には2650地区でロータリーの原点に照らし、ロータリアンの責務として支援活動を進めていくことを目的に「東日本大震災復興支援特別委員会」を立ち上げて、地区独自の「RI第2650地区特別基金」が設けられました。今後、この基金を利用して早急に被災地への支援活動を幾つかの手法で行うことになります。既に多くのクラブでは活発に支援活動が行われていますが、この文章がガバナー月信に掲載されます頃には更に多くの支援活動がロータリアンによって行われているこ

とでしょう。しかし、その災害の処理や復興が進まない中、9月には台風12号と15号による風水害で紀伊半島の各地をはじめ広い地域で大きな被害が発生しました。山崩れ・河川の氾濫・家屋流失や床上浸水など被害は甚大です。いずれの場合もロータリアンは出来る限り災害支援としての奉仕をしなければなりません。私達を育ててくれる自然と凄まじい牙を剥く自然を良く理解して復興に取り組んでいかれることを願って止みません。

地区内97クラブの皆様方によって日々社会奉仕活動に取り組み、その素晴らしい活動内容を上期・下期に分けてご報告頂いておりますことに心より敬服いたしております。また、「まちづくり基金」助成につきまして今年度は二年目の実施となります。[次の世代が心ときめかす環境づくり]の主旨を良くご理解頂いて、より多くのクラブからのご応募を頂きますことを期待しております。そして「まちづくり基金」助成と同様に前年度より実施しております社会奉仕・職業奉仕委員会との合同講演会は2012年1月21日に開催予定となっておりますが、ロータリーの基本理念であります「職業奉仕」について研修をして頂くことは社会奉仕活動に対しての思慮が深くなり、より充実した活動が出来るのではないかと期待しております。

地区社会奉仕委員会では冒頭に記載しました今年度の地区のテーマを認識して各クラブの皆様方と一緒に奉仕活動を盛り立てていくことを目標としております。各クラブの皆様方の一層のご協力ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

田中 伸二 (たなか しんじ)  
ロータリー歴

2004年1月9日	京都乙訓ロータリークラブ入会
2008年～2010年	地区社会奉仕委員会委員
2010年～2011年	地区社会奉仕委員会副委員長
2011年～	地区社会奉仕委員会委員長



国際ロータリー第2650地区 2011～2012年度

## バンコク国際大会出席のお誘いと説明会の報告

2011～2012年度の国際ロータリー年次大会は、2012年5月6日～9日にタイ王国の首都バンコクに於いて開催されます。国際大会はロータリー最大の行事で有り、その年度の総括と次年度の各役員達を鼓舞するのが大きな目的です。アジアでは2004年の大阪大会以来、8年振りの開催となり、日本からのアクセスも比較的便利で多くの日本人ロータリアンの出席が見込まれます。

しかしながら11月始め現在のタイは、特にバンコク市内やその周辺地域が数十年来という大雨に因る大洪水に見舞われており、経済活動にまで深刻な状況なのはテレビや新聞の報道でご承知の通りです。

ただ今の時期からは乾期に入り、雨はほとんど降らないので、現在溜まっている水も徐々に引いて行き、来年5月には治まっている事でしょう。

「微笑みの国」と称される美しい国、信心深い国民、親日の国、また文化都市としてのバンコクは数々の見どころやエンターテインメントが数多く有ります。

ロータリーに対する誇りと新年度への熱意を持って、バンコク国際大会に出席しようではありませんか。

去る11月5日(土)キャンパスプラザ京都に於いて、地区内97RCを対象に説明会を開催いたしました。今西ガバナー、福井パストガバナー、富田パストガバナー、河本ガバナーエレクトに神谷パストガバナーも出席され、43RCから総勢68名の出席が有りました。

会場は熱気に溢れ、登録に関する熱心な質問も有り、今まで以上に今回の国際大会へ参加してやろうという意気込みを感じて会合は終了いたしました。

報告者: ロータリー国際交流(RI国際大会推進)委員会  
委員長 広瀬 茂(京都南RC)



国際大会説明会 — 広瀬委員長



会場の様子

# 会員数の増減及び出席率表

## 9月 国際ロータリー第2650地区 2011～2012年度 会員数の増減及び出席率表

### 京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
綾部	31	0	0	31	31	2	1	3	100.00	0
福知山	59	2	0	61	59	2	0	5	93.02	0
福知山西南	48	0	1	47	48	0	1	4	96.29	0
亀岡	31	0	0	31	34	0	3	4	100.00	0
亀岡中央	18	0	0	18	18	0	0	4	97.22	1
京丹後	28	0	0	28	28	0	0	5	95.72	2
京都	188	1	2	187	183	6	2	4	98.25	0
京都伏見	83	3	1	85	83	5	1	4	86.17	4
京都平安	29	0	0	29	29	0	0	3	56.79	4
京都東	97	0	0	97	99	1	2	4	94.62	0
京都東山	78	0	2	76	78	0	2	4	98.20	3
京都北東	28	0	0	28	29	0	1	4	89.99	0
京都城陽	30	0	0	30	30	1	0	4	97.42	1
京都桂川	31	0	0	31	31	1	1	5	90.44	0
京都北	65	0	0	65	65	0	0	5	97.76	0
京都市南	212	0	1	211	211	1	1	5	94.55	0
京都モーニング	51	0	1	50	51	0	2	5	83.32	4
京都紫野	62	0	0	62	61	1	0	3	100.00	0
京都市中	41	0	0	41	41	0	0	3	100.00	0
京都西	105	0	2	103	105	0	2	3	98.98	0
京都西山	19	0	0	19	19	0	0	5	94.12	1
京都乙訓	31	0	0	31	31	0	0	4	89.71	0
京都洛中	75	0	0	75	75	0	0	4	99.64	0
京都洛北	69	0	0	69	67	2	0	5	89.44	0
京都洛南	32	0	0	32	32	0	0	4	91.18	1
京都洛西	46	0	0	46	44	2	0	4	91.50	6
京都洛東	35	0	0	35	35	0	0	5	84.71	0
京都嵯峨野	25	0	0	25	25	0	0	4	79.46	0
京都さくら	27	0	0	27	27	0	0	4	89.46	6
京都西北	44	0	1	43	45	0	2	4	88.30	0
京都西南	48	0	0	48	47	1	0	4	94.86	5
京都紫竹	40	0	1	39	39	1	1	4	81.63	1
京都朱雀	41	0	0	41	38	3	0	4	88.49	2
京都田辺	21	0	0	21	21	0	0	5	93.68	2
京都山城	38	0	0	38	39	0	1	4	100.00	0
京都八幡	30	0	1	29	29	1	1	4	85.83	1
舞鶴	25	0	0	25	25	1	0	4	92.70	0
舞鶴東	45	0	0	45	43	2	0	4	87.98	0
宮津	38	0	0	38	37	1	0	4	95.34	0
園部	25	0	0	25	25	0	0	3	98.55	0
宇治	38	0	0	38	38	0	0	4	100.00	0
宇治鳳凰	48	0	0	48	46	2	0	5	98.74	4
小計	2,155	6	13	2,148	2,141	36	24	4.1	92.48	48

### 奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
あすか	52	0	0	52	52	0	0	5	84.01	0
五條	29	0	1	28	29	0	1	3	90.55	1
平城京	34	0	0	34	33	1	0	4	97.04	4
生駒	29	0	0	29	26	3	0	5	84.01	1
橿原	62	0	2	60	62	1	2	4	71.12	2
奈良	144	0	0	144	140	4	0	4	98.43	4
奈良東	40	2	0	42	40	2	0	4	93.52	0
奈良西	47	0	0	47	45	2	0	4	100.00	2
奈良大宮	70	0	1	69	69	2	2	4	95.15	0
王寺	20	0	0	20	20	0	0	4	92.50	2
桜井	37	0	0	37	37	0	0	4	87.36	0
大和郡山	52	0	0	52	52	0	0	3	90.91	0
大和高田	93	0	1	92	92	1	1	4	96.44	2
小計	709	2	5	706	697	16	6	4	90.85	18

■表作成にあたって  
・会員数に、名誉会員は含まれておりません。  
・入退会者数、9月会員数および入退会者累計数は9月末現在です。  
・「期首会員数」は、2011年7月1日現在の会員数です。

### 福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
福井	111	0	1	110	113	0	3	5	64.61	4
福井あじさい	51	1	0	52	50	4	0	3	72.70	3
福井フェニクス	43	0	0	43	41	2	0	4	80.24	9
福井東	30	0	0	30	30	0	0	3	81.92	2
福井北	112	1	0	113	111	2	0	4	87.07	5
福井南	46	0	0	46	46	0	0	4	75.59	0
福井西	28	0	0	28	29	0	1	3	86.71	0
福井水仙	22	0	0	22	22	0	0	4	62.50	1
勝山	31	0	0	31	30	1	0	4	96.77	3
丸岡	40	0	0	40	40	0	0	4	92.09	0
三国	30	0	0	30	30	0	0	4	91.89	4
大野	32	0	0	32	31	1	0	4	82.50	2
鯖江	33	0	1	32	33	0	1	3	78.28	0
鯖江北	16	0	0	16	16	0	0	4	73.75	0
武生	62	0	0	62	62	1	1	4	77.49	3
武生府中	33	0	0	33	33	1	1	4	93.94	0
敦賀	39	0	0	39	36	3	0	4	89.84	0
敦賀西	20	0	0	20	20	0	0	3	90.00	1
若狭	30	0	0	30	29	1	0	4	92.50	0
小計	809	2	2	809	802	16	7	3.8	82.65	37

### 滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
びわ湖八幡	47	0	0	47	46	1	0	4	98.35	2
五個荘能登川	18	0	0	18	22	0	4	3	63.73	0
東近江	41	0	0	41	41	1	1	4	93.43	0
彦根	66	0	1	65	65	3	3	4	92.23	4
彦根南	67	0	0	67	67	0	0	4	97.88	0
湖南	35	0	0	35	34	2	0	4	95.02	2
草津	39	0	0	39	39	0	0	5	86.82	0
水口	42	0	0	42	39	3	0	4	97.85	0
守山	45	1	0	46	45	1	0	4	93.75	0
長浜	61	0	0	61	57	4	0	3	93.57	0
長浜東	64	0	0	64	63	1	1	4	92.37	0
長浜北	27	0	0	27	26	1	0	4	87.75	0
近江八幡	48	0	0	48	47	1	0	4	93.81	1
大津	99	2	1	100	97	4	1	4	98.96	0
大津中央	28	0	0	28	28	0	0	4	80.36	1
大津東	25	0	0	25	23	2	0	4	92.71	2
大津唐橋	17	0	0	17	18	0	1	4	73.53	0
大津西	23	0	0	23	23	0	0	5	99.00	0
栗東	31	0	1	30	32	1	2	4	88.61	1
高島	43	0	0	43	42	1	0	4	96.54	1
野洲	33	0	0	33	31	2	0	4	89.40	0
八日市南	53	0	1	52	53	0	1	4	87.30	2
小計	952	3	4	951	938	28	14	4	90.59	16

### Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
日本ロータリーEクラブ 2650	39	2	0	41	38	3	0	3	98.33	4
小計	39	2	0	41	38	3	0	3	98.33	4

### 合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率%	女性 会員数
小計	4,664	15	24	4,655	4,616	99	51	4	89.97	123

9月 国際ロータリー第2650地区 2011~2012年度  
会員の動き

9月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福知山	三野 裕一	電話事業
福知山	大槻 光	介護サービス
守山	西村 弘樹	燃料販売
京都伏見	河合 信夫	百貨店
京都伏見	森本 昌弘	ホテル
大津	上田 一志	電信電話事業
京都	今西 幸男	化学研究
奈良東	大倉 正好	傷害保険
奈良東	藤本 宜史	保育園
京都伏見	田附 剛平	漬物製造
大津	辻田 和則	公共放送
日本ロータリーEクラブ2650	岩淵 誠	司法書士
日本ロータリーEクラブ2650	花田 善廣	構造技術
福井北	桂屋 修	健康推進行政
福井あじさい	高原 裕一	経営コンサルタント

9月退会者一覧

クラブ名	氏名
京都西	眞田 政典
大津	坪井 清和
奈良大宮	畑中 利久
京都	板倉 茂樹
橿原	鍛冶田 恭男
八日市南	佐野 和夫
京都南	松 智夫
京都西	久保田 敏嗣
五條	榊井 喜徳
福井	西村 昭人
鯖江	広橋 晃晃
栗東	工藤 勝利
福知山西南	大槻 廣子
京都	岸本 雅夫
京都東山	松木 一恭
京都東山	西村 正一郎
京都モーニング	横溝 真人
京都西北	杉山 正義
京都紫竹	高林 素樹
橿原	飛鳥井 雅慶
大和高田	中垣 人美

9月ご逝去会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
京都八幡	菊田 昇	9月 6日 ご逝去 享年84歳
京都伏見	大藤 隆男	9月 9日 ご逝去 享年79歳
彦根	加納 久吉	9月28日 ご逝去 享年84歳

訂正とお詫び

ガバナー月信Vol.5 P10「東日本大震災被災地石巻市を視察して」上から7行目安養寺・川上住職と記載しておりましたが、正しくは武田住職です。ここに訂正しお詫び申し上げます。



国際ロータリー第2650地区  
ホームページの紹介

第2650地区のホームページが新しくなりました。各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告等、様々なメッセージ等を掲載しております。是非ご覧になってください。

第2650地区のホームページ

<http://www.rid2650.gr.jp/>



Kyoto/Fukui/Shiga/Nara

R.I.D.2650

2011-2012

国際ロータリー第2650地区

2011-2012年度 ガバナー 今西信裕

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東小路町614番地新京都センタービル5階520号室  
TEL.075-343-2650 FAX.075-343-2651 E-mail:gov2011-12@rid2650.gr.jp